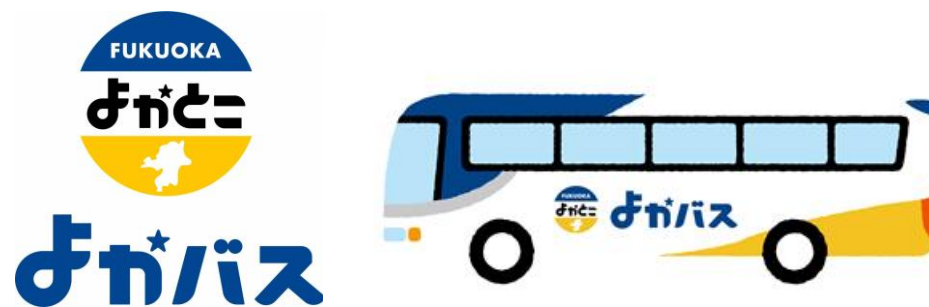


令和7年度の観光振興の取組について



令和8年3月27日
福岡県商工部観光局



目次

1 第三次福岡県観光振興指針の目標と現状

2 令和7年度の観光振興の取組について

1 第三次福岡県観光振興指針の目標と現状 ①

● 目指す将来像 ⇒ 「“つながる” 福岡観光」

基本方針

- 1 回復するインバウンド需要の本県への着実な取り込み
- 2 リピーターの確保と県内の周遊促進
- 3 観光DXの推進
- 4 持続可能な観光（観光SDGs）の推進

● 目標値（KPI）

数値目標	参考 2019年(R1)	2022年(R4)	2023年(R5)	2024年(R6)	実績 2025年(R7)速報		目標値 2026年(R8)
						目標 達成率	
延べ宿泊者数	2,042万人泊	1,399万人泊	2,112万人泊	2,395万人泊	(※5) 2,418万人泊	103.2%	2,344万人泊
うち日本人	1,616万人泊	1,339万人泊	1,609万人泊	1,656万人泊	1,627万人泊	91.8%	1,772万人泊
うち外国人	426万人泊	61万人泊	504万人泊	739万人泊	791万人泊	138.3%	572万人泊
旅行消費額	9,934億円	(※1) -	9,659億円	13,252億円	13,097億円	107.4%	12,200億円
うち日本人	7,996億円	5,477億円	6,949億円	9,287億円	(※6) 8,633億円	98.1%	8,800億円
うち外国人 (※2)	1,938億円	(※1) -	2,710億円 (※4)	3,965億円	(※7) 4,464億円	131.3%	3,400億円
旅行消費単価 (日本人)	44,615円	44,869円	54,442円	56,744円	(※6) 52,828円	104.0%	50,800円
旅行消費単価 (通常入国外国人)	65,700円	(※1) -	87,512円	95,485円	(※7) 95,668円	112.0%	85,400円
リピーター率 (日本人)(※3)	—	68.1%	65.6%	65.6% 【2023年(R5)】	64.7% 【2024年(R6)】	92.4%	70%
リピーター率 (アジア)	—	—	40.1%	42.3%	46.0%	102.2%	45%
リピーター率 (欧米豪)	—	—	21.7%	36.2%	39.3%	157.2%	25%

【出典】

・延べ宿泊者数：観光庁「宿泊旅行統計」

・旅行消費額：観光庁「旅行・観光消費動向調査」、観光庁「インバウンド消費動向調査」及び法務省「出入国管理統計」を基に福岡県算出

・旅行消費単価：観光庁「旅行・観光消費動向調査」「インバウンド消費動向調査」

・リピーター率：「福岡県観光ビッグデータ調査」(アンケート調査)

※1 旅行消費額(外国人)、旅行消費単価(通常入国外国人)については、国調査(観光庁「訪日外国人消費動向調査」)が、2022(令和4)年7～9月期まで全国籍・地域のみ公表としているため不明。

※2 旅行消費額(外国人)の把握方法については、以下①+②の合計。

① 通常入国分(旅行消費単価(通常入国外国人)×外国人来訪者数(観光庁「訪日外国人消費動向調査」)に基づき推計)

② クルーズ船入国分(旅行消費単価(クルーズ客)×クルーズ船入国者数(法務省「出入国管理統計」)

※3 過去3年間に福岡県の訪問回数が2回以上の県外在住者の割合。

※4 調査が再開された2023年4-12月(通常入国外国人)及び7-12月(クルーズ調査)の結果を基に算出

※5 2次速報値(R8.6.30確報予定)

※6 2025年10-12月期については、速報値(R8.4.30確報予定)

※7 1・2次速報を元に、福岡県推計(R8.3.31確報予定)

注：表示単位未満四捨五入の関係で、積上げと合計が一致しない箇所がある

1 第三次福岡県観光振興指針の目標と現状 ②

● 4つの施策に係る目標

- | | |
|-------------|---------------|
| 1 受入環境の充実 | 3 戦略的なプロモーション |
| 2 観光資源の魅力向上 | 4 観光振興の体制強化 |

1 受入環境の充実

成果指標	当初値 (2022年,R4)	2024年(R6)	実績 2025年(R7速報)	目標値 (2026年,R8)
宿泊施設の生産性向上支援件数	38件/年	34件/年	累計67件	累計150件
旅行者満足度(日本人)	87.5%	88.2%	89.3%	90%
旅行者満足度(外国人)	94.9% 【2023年,R5】	87.9%	98.5%	97%
住民満足度(観光振興による福岡県の活気の実感)	58.9%	70.6%	71.4%	70%
福岡空港の新規国際路線誘致数	—	累計4路線 ※R5年度から	累計5路線 ※R5年度から	累計4路線

2 観光資源の魅力向上

成果指標	当初値 (2022年,R4)	2024年(R6)	実績 2025年(R7速報)	目標値 (2026年,R8)
福岡県広域サイクリングルートの整備数(県管轄区間)	3ルート	4ルート	累計4ルート	7ルート
高付加価値な旅行商品(※)の販売数	—	16商品	累計18商品	累計30商品

※特別な体験を提供することなどにより、目標値(KPI)に掲げている旅行消費単価の約2倍(日本人向けは10万円、外国人向けは20万円)以上となる旅行商品(県が達成に関わり、かつ、政令市以外の訪問を含む旅行商品に限る)。

3 戦略的なプロモーション

成果指標	当初値 (2022年,R4)	2024年(R6)	実績 2025年(R7速報)	目標値 (2026年,R8)
福岡の認知度(アジア)※	31%(15位) 【2023年,R5】	30%(13位)	38%(8位)	37%(12位)
福岡の認知度(欧米豪)※	8%(15位) 【2023年,R5】	6%(15位)	9%(13位)	10%(14位)
政令市以外を訪問した旅行者の割合(日本人)	48.5% 【2022年,R4】	46.7% 【2023年,R5】	46.0% 【2024年,R6】	50%
政令市以外を訪問した旅行者の割合(外国人)	23.5% 【2022年,R4】	26.1% 【2023年,R5】	25.5% 【2024年,R6】	25%

※順位について、調査対象先数が2025年に変更(63→65)となっている。

4 観光振興の体制強化

成果指標	当初値 (2022年,R4)	2024年(R6)	実績 2025年(R7速報)	目標値 (2026年,R8)
観光産業を支える人材の育成人数	累計3,033人	1,297人	累計3,053人	累計3,000人
新規事業を創出したDMOの数	—	8団体	累計9団体	累計10団体

2 令和7年度の観光振興の取組について

観光振興指針における 施策の柱	令和7年度における 主な施策
1 受入環境の充実	<ul style="list-style-type: none">・ 宿泊事業者の生産性向上支援・ ユニバーサルツーリズムの推進
2 観光資源の魅力向上	<ul style="list-style-type: none">・ 温泉地への宿泊を促すイベントの開催・ 万葉歌碑による県内周遊の推進・ 久留米緋のオープンファクトリー化の推進・ トレイルツーリズムの推進
3 戦略的なプロモーション	<ul style="list-style-type: none">・ 「食の王国・福岡」の魅力発信・ 国・地域別の戦略的なインバウンド誘客の実施・ 県内温泉地への誘客強化・ 観光客の県内周遊・宿泊の促進
4 観光振興の体制強化	<ul style="list-style-type: none">・ 観光業の人材育成・雇用促進・ 食の多様性の推進

2 令和7年度の観光振興の取組について ①

1 受入環境の充実

■ 宿泊事業者の生産性向上支援

① 宿泊業専門アドバイザー等による生産性向上の伴走支援強化

- ・ 「福岡県中小企業DX推進センター（旧福岡県中小企業生産性向上支援センター）」内に、「宿泊業支援ユニット」を設置
 - ・ 企業診断スタッフによる診断結果を踏まえ、宿泊業専門アドバイザーが現場の実態に合わせて売上向上やコスト削減等の生産性向上の取組を伴走型できめ細かく支援
- 支援件数： 33件（令和8年2月28日時点）

② 宿泊事業者の生産性向上に資する設備導入等の助成

○ 一般枠

- ・ 売上向上やコスト削減等の生産性向上に資する事業

【補助率】 1/2以内

【限度額】 300万円

申請件数： 20件（令和8年2月28日時点）

○ ユニバーサルツーリズム対応枠

- ・ ユニバーサルツーリズムの推進に資する施設の改修や機器の導入を行う事業

【補助率】 1/2以内

【限度額】 500万円

申請件数： 5件（令和8年2月28日時点）

2 令和7年度の観光振興の取組について ②

■ ユニバーサルツーリズムの推進

- ユニバーサルツーリズム※の取組を推進するため、観光関連事業者（宿泊施設、交通事業者、観光関連施設等）を対象に、ユニバーサルツーリズムへの理解促進を図るためのセミナー及び実践に向けた取組を支援するためのアドバイザー派遣を実施

※ユニバーサルツーリズム・・・年齢や障がいの有無等に関わらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行

<セミナー>

【開催回数】 2回（7月・11月）

【テーマ】 7月：「当事者目線による（障がいをお持ちの方への）具体的な配慮のポイント」
11月：「多様な方（外国人・高齢者・障がい者・LGBTQ等）へのおもてなし」

【参加者数】 265名

<アドバイザー派遣>

- 専門アドバイザーが、観光関連事業者のユニバーサルツーリズム推進に向けたソフト面（従業員研修等）やハード面（施設整備等）の取組へアドバイスを行う

【支援事業者数】 19者



【ユニバーサルツーリズムセミナーの様子】



【アドバイザー派遣の様子・白杖の体験】



【アドバイザー派遣の様子・施設の設備確認】

2 観光資源の魅力向上

■ 温泉地への宿泊を促すイベントの開催

- ・ 温泉地のさらなる賑わい創出と誘客促進を目的に、原鶴温泉において地元と連携し「原鶴湯ったりよかせ祭り」を開催し、夜間と早朝に楽しめる催しを実施

【期 間】 令和7年7月26日（土）～8月31日（日）

【内 容】 ● 夜間の催し

- ・ キッチンカー、地元酒造会社などの出店（土日のみ）
- ・ デジタルスタンプラリーで温泉街を楽しく周遊（毎日）
- ・ 水辺広場、河川敷のライトアップ（毎日） など

● 早朝の催し

- ・ 宿泊者向け筑後川遊覧船（日曜のみ）



【水辺広場ライトアップ】



【筑後川遊覧船】

■ 万葉歌碑による県内周遊の推進

① 「福岡県万葉歌碑魅力発信セミナー」の開催

- ・ 観光資源としての万葉歌碑の活用方法や魅力を改めて認識してもらうため、セミナーを開催

【日 時】 令和7年10月24日（金）10:00～11:00

【参加者】 市町村・観光協会職員、旅行事業者、万葉歌碑に関心がある一般の方

【内 容】（テーマ）「観光資源としての万葉歌碑の活用方法や魅力について」

（講 師） 國學院大學 上野 誠 教授

② 万葉歌碑を観光資源とした観光プログラムの開発等を助成

- ・ 万葉歌碑を観光資源とした観光プログラムの開発や旅行商品の造成等を実施する観光関連事業者を助成

【補助率】 1/2 【限度額】 100万円/件



【万葉歌碑魅力発信セミナーの様子】

2 令和7年度の観光振興の取組について ④

■ 久留米絨のオープンファクトリー化の推進

① 観光客の受入体制の構築

- ・産地の事業者間で協議し、年間を通じて工房見学を受け入れる体制を構築
- ・参加事業者において、パネル等の説明資料の制作、安全対策のための施設改修等を実施

【主な取組例】

- 制作工程をわかりやすく説明したパネルや生地等を展示したギャラリーの整備
- インカム機器の導入や見学者が説明動画を一度に観覧できるモニターの設置

② オープンファクトリーの情報発信

- ・県観光情報サイト内に各工房の特色や見学内容を紹介する特設ページを開設

■ トレイルツーリズムの推進

① 「英彦山巡礼路」サインの設置

- ・株式会社ヤマップと連携し、英彦山巡礼路の1つ「春峰ルート」に、英彦山巡礼路ロゴマークをあしらった日英併記のサインを設置

② 地元産品等をお届けする「英彦山巡礼路旅マエBOX」の販売

- ・地元グルメの詰め合わせと英彦山巡礼路オリジナルグッズを旅マエからお届けする商品をオンラインで販売し、地域経済に貢献

③ 「英彦山巡礼路モーメント投稿キャンペーン」の実施

- ・「春峰ルート」上に設定された複数の地点を通過してデジタルバッジを獲得し、YAMAPアプリ内で英彦山巡礼路に関する投稿をした方に記念品を配布

【期 間】 令和7年10月3日（金）～12月7日（日）



【ギャラリーの整備】



【特設ページ】



【英彦山巡礼路サイン】



【キャンペーン記念品】

2 令和7年度の観光振興の取組について ⑤

3 戦略的なプロモーション

■ 「食の王国・福岡」の魅力発信

① 九州7県で大阪・関西万博に合同出展

- ・ 「食の王国・福岡」をテーマとしたブースを出展し、福岡県自慢の食材を使ったお弁当の販売や、県産酒・八女伝統本玉露の試飲、農林水産加工品や伝統工芸品の販売を行うとともに本県魅力を映像で紹介

【期 間】 令和7年9月3日（水）～5日（金） 【会 場】 大阪関西万博会場内 EXPO メッセ「WASSE」



【福岡県のブースの様子】

② 「ラ・リスト」の東京・パリでのイベントに出展

- ・ 世界的なグルメ情報サイト「ラ・リスト」が主催する東京、パリのイベントにブースを出展し、「福岡の食」の魅力を引き出す料理や、八女茶、県産酒などを提供し、「食の王国・福岡」の魅力発信

【ラ・リスト（東京）】

【期 間】 令和7年10月22日（水）

【会 場】 在日フランス大使公邸

【参加者】 国内のシェフやホテル関係者など

【ラ・リスト（パリ）】

【期 間】 令和7年11月24日（月）

【会 場】 フランス外務省

【参加者】 世界のシェフやホテル関係者など

- ・ 「ラ・リスト」のパリイベントに合わせて、知事・県議会で構成するパリ訪問団を派遣し、現地旅行会社・メディアを集めた観光セミナー等を実施

【期 間】 令和7年11月25日（火）

【会 場】 Le Metropolitan (ル メトロポリタン)

【参加者】 現地旅行会社、メディアなど



【パリイベントでの様子】

③ 新潟県との観光分野の連携

- 新潟と福岡両県の連携を踏まえ、福岡県の食や伝統工芸など様々な魅力を体験できる旅行商品の造成を支援するため、新潟県の旅行会社に対しモニターツアーを実施

【日 程】 令和8年2月17日（火）～19日（木） 2泊3日

【参加社】 新潟県の旅行会社10社

【視察先】 小石原焼、高取焼窯元（東峰村）、夜のいちご狩り（うきは市）、久留米緋工房（広川町）、八女茶すすり茶体験（八女市）、酒蔵、宗像大社（宗像市）



【八女茶のすすり茶体験】

■ 国・地域別の戦略的なインバウンド誘客の実施

① 欧米豪における認知度向上と旅行傾向・嗜好に合わせた誘客促進

- 英・仏・米・豪に設置している本県の観光誘客拠点を通じ、現地の旅行会社やメディアの招請、観光セミナーの開催等により、現地旅行会社が企画する旅行商品の造成・販売を支援

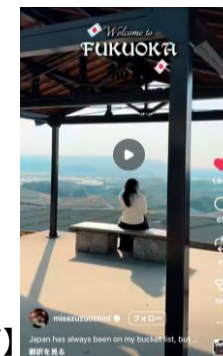


【米国旅行会社のファムトリップ】 【現地での観光セミナー（英国）】

② イスラム圏出身のインフルエンサーを活用した中東における誘客促進

- イスラム圏出身のインフルエンサーを活用し、中東向けに本県の観光の魅力やムスリムに対応した飲食店等を紹介

【取材先】 八女中央大茶園等の観光施設、宿泊施設、ムスリムフレンドリーの飲食店



【インフルエンサーの配信動画】

2 令和7年度の観光振興の取組について ⑦

③ アジア圏における現地旅行会社向け商談会の開催及び県内広域観光エリア動画の配信

- 台湾、タイ、韓国において、現地旅行会社と県内観光事業者との商談会を開催

【台湾】 5月21日開催（現地35社52名、県内15団体23名が参加）

【タイ】 9月 2日開催（現地31社50名、県内14団体22名が参加）

【韓国】 10月28日開催（現地32社42名、県内19団体41名が参加）



【台湾 商談会】

- 台湾・香港・韓国で人気のインフルエンサーを活用し、県内6つの広域観光エリア動画を配信

【配信本数】 各国・地域 合計34本



【配信動画】



21:27

2 令和7年度の観光振興の取組について ⑧

■ 県内温泉地への誘客強化

① 「福岡の食と温泉コンシェルジュ」を開設

- 外国人観光客に対し本県の食と温泉地の魅力を案内することで、認知度向上および誘客促進を図るため福岡空港国際観光案内所に「福岡の食と温泉コンシェルジュ」を設置

【内 容】 ・福岡の食と温泉コンシェルジュによる案内
 ・食と温泉を紹介する多言語パンフレットの配架
 ・デジタルサイネージでのPR動画放映

【設 置】 令和8年2月2日（月）～
 （開設時間：8時～21時）



【コンシェルジュ設置初日イベント】



【案内の様子】



【パンフレット】

② 県内温泉施設に宿泊する県外発バスツアーの造成を助成

- 県内温泉施設に宿泊する県外発バスツアーを造成・催行する旅行会社を助成

【期 間】 令和7年10月15日（水）～ 令和8年2月12日（木）出発

【対 象】 県内温泉施設（政令市除く）に宿泊する県外発バスツアー

【要 件】 参加者20名以上、県が別に定める観光施設・観光素材等を1か所以上訪問

【助成額】 バス1台あたり 10万円（定額）



【原鶴温泉】

2 令和7年度の観光振興の取組について ⑨

■ 観光客の県内周遊・宿泊の促進

① 閑散期平日の宿泊を促進

- ・ 閑散期における旅行需要の喚起及び休日や都市部に集中する宿泊者の分散化を図るため、閑散期の平日における県内宿泊施設（政令市を除く）への宿泊者に対し割引支援を実施

【期 間】 令和7年 5月7日（水）～ 7月18日（金）

令和7年12月1日（月）～ 令和8年2月13日（金）

【対象者】 県内宿泊施設（政令市を除く）、旅行会社 ※事前登録制

【割引率】 宿泊・旅行代金の総額20%（1人1泊あたり最大3千円）



② 県内周遊バス旅行商品「よかバス」の実施

- ・ 県内周遊バス旅行商品サイト「よかバス」を開設し、バス旅行商品を造成する県内旅行会社を助成

【対 象】 県指定の6エリア又は「西の都」の観光素材を行程に含むバスツアー

【助成額】 日帰り 5万円、宿泊 10万円

- ・ インバウンド向け「よかバス」商品のプロモーションを実施

【国 内】 TV、Web広告、新聞広告など各種メディアを活用

【海 外】 海外OTAサイトへの特設ページ開設

- ・ 旅行会社と市町村等の商談会を開催

【開催時期】 年2回（5月：秋冬商品向け、11月：春夏商品向け）各2日開催



【よかバス】

2 令和7年度の観光振興の取組について ⑩

4 観光振興の体制強化

■ 観光業の人材育成・雇用促進

① 宿泊業の人材不足解消に向けたインターンシップの導入支援、合同会社説明会の実施

- ・ 人材不足が深刻化する宿泊業への雇用を促進するため、インターンシップの導入支援や、県内外の学生・転職希望者を対象とした合同会社説明会を開催

	事業者向け人材確保支援セミナー	インターンシップ マッチングイベント	合同会社説明会
実施回数	4回 (福岡・北九州・オンライン2回)	2回 (福岡・北九州)	3回 (東京・福岡2回)
参加者数	64名	30社・248名	54社・443名

② 宿泊施設従業員を対象としたおもてなし研修の実施

- ・ 県内宿泊施設におけるおもてなし力を磨くため、宿泊施設従業員を対象とした研修を実施

【開催方法】 対面開催（6回）、オンデマンド配信

【研修内容】 接客・接客スキルの向上、多様なニーズへの対応 等

【参加者数】 118名



【合同会社説明会の様子】

2 令和7年度の観光振興の取組について ⑪

■ 食の多様性対応の推進

① ムスリム、ベジタリアン等が安心して利用できる飲食店情報を発信

- ・ 県観光情報サイトにムスリム・ベジタリアン等が安心して利用できる飲食店情報を掲載する特設ページを開設し、6言語（日・英・韓・簡・繁・仏）で情報発信

【掲載店舗数】 61店舗

② 飲食店等へ啓発セミナー・専門家によるメニュー開発支援

- ・ 飲食店や宿泊施設を対象に、ムスリム・ベジタリアン等の「食の多様性」を普及・啓発するため、試食体験セミナーの開催や専門家によるメニュー開発に向けた個別支援を実施

【普及啓発セミナー】

- 〔内 容〕・ムスリム・ベジタリアン等の基礎知識や事例店舗紹介
・食の多様性に対応したメニューの試食体験 等

【参加者数】 281名（全4回開催）

【メニュー開発に向けた個別支援】

- 〔支援内容〕 食材・調味料のチェックや仕入先の開拓、多言語メニューやポリシー作成支援、開発メニューの試食・テスト販売の実施 等

【メニュー開発事業者数】 22事業者

VISIT FUKUOKA



【県観光情報サイト内 対応店舗紹介ページ】



【試食体験セミナーの様子】



【明太卵焼き入りうどん（ムスリム）】



【ヴィーガン会席】